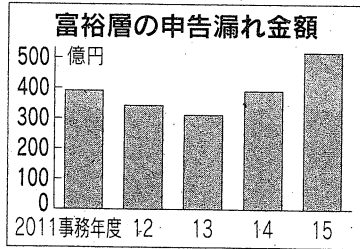


2016 10/29

富裕層申告漏れ516億円

6月までの1年、3割増



国税庁は28日、今年6月までの1年間（2015事務年度）に実施した所得税の税務調査の結果を発表した。富裕層に指摘した申告漏れ所得は14事務年度比約3割増の計516億円で、現在の集計方法となった09事務年度以降で最高となった。同庁は「富裕層調査の専門チーム設置の効果」などが一因としている。

富裕層に対する4377件の調査のうち約8割で申告漏れが見つかった。追徴税額は120億円と約18%増だった。富裕層調査は国税庁が注

力している分野の一つで14年7月には東京、大阪、名古屋の各国税局に専門チームが設置された。今後、専門チームの全国展開も検討されている。

全体の所得税の申告漏れ総額は8785億円で14事務年度に比べ1.4%増えた。調査した約65万件のうち約39万件で申告漏れなどが見つかり、追徴税額は1074億円だった。